

謹賀新年

今年の夏、A.T.Networkは開設して満14年になります。渋谷に事務所を構えて10年が過ぎました。

本年はPFI事業、民間事業などが中心となりながら、さらに多くのチャンスに取り組んで参ります。また、事務所の体制についても軽い改革を起こそうと企んでおります。本年もどうぞよろしくお願い致します。

A.T.Network 代表 近江哲朗

カルスタすぎと[PFI]開館準備中

埼玉県・杉戸町でPFI事業による「杉戸町生涯学習センター」が竣工しました。愛称も「カルスタすぎと」と決まり、春の開館を待ちながら、準備を進めています。

ホール形式は「キラリ ふじみ・マルチホール」で成功した客席前部をボトム式として舞台部を固定化する手法を採用しました。上部のギャラリーも少々ディテールを見直して少しバージョンアップした事例です。

写真 - A.T.Network



キラリ・オペレーターの工夫

「キラリ ふじみ」メインホールで昨年末にトランペットを主とする13人編成のコンサートが催されました。音響反射板をセットし、演奏ステージの中央に集中して配置されたアーティストに絞って天井反射板ライトもすべて点灯せず、中央部を狙った配光としています。これによって側面・正面の反射板の色合いがとても落ち着いて、また新しいコンサート環境が出来上がりました。

キラリのオペレーター達の工夫とチャレンジの成果です 写真 - A.T.Network



指定管理者選定に立会って

昨年秋から指定管理者（公募型）選定のお手伝いを松戸市で経験しました。

松戸市内の「森のホール21」と「松戸市民劇場」の2施設の指定管理者を松戸市が公募したもので、2社によるプレゼンテーションを受け、質疑応答を行った上で採点をしたところ応募2社とも好ましくない結果になってしまいました。やはり財団法人とはいえ行政からの「管理委託」によって実施してきた運営+維持管理を廉価で民間事業者へ委託するという行為は決して簡単なものではありません。地方自治法改正によって平成18年9月までに公の施設は直営か指定管理者への委託かといった選択を迫られたことは、特に劇場・ホールにとっては必ずしも望ましいことであったかどうか疑問を感じます。今後の全国的動向に非常に不安と危機感を感じます。

平台設営手順書作成

「カルスタすぎと」の大道具備品が納入されることを機に、図解写真付で平台設営手順書を作成しました。

これまで大道具備品については取扱い説明が主となり、手順書などが見当たらない場合その殆どであり、思い切って作成しました。興味のある方はどうぞご連絡ください。 【神戸】

城下町ホール・設計者選定公開プレゼンテーション

昨年末に小田原市（仮称）城下町ホール、設計者選定の最終段階において日曜日に上位7社に対するプレゼンテーション&ヒアリングが行われました。

基本構想策定から市民説明会のファシリテーターとしてのお手伝いをしてきた立場として緊張感を持って傍聴しました。公募としたため登録数は400を超え、応募総数は238作品という膨大な数となりました。一次審査を経て7作品がネット上でも公開され、その上での公開プレゼンテーションでした。公開で行われた内容は各社15分のプレゼンテーションと審査委員からの質疑応答のみで審査そのものは公開されず、おそらく参加された約400名の方々には消化不良だったのでは??

編集後記

例年通り、いや更に慌しい昨年末でした。強引に年末年始休暇に入った感が残っています。冒頭のご挨拶でも触れましたが、今年は改革を試みるつもりです。何を改革するかについては結果が出るまでお待ちください? 近江

2006年のご案内・他

2006年業務開始 1月5日 (土・日・祝祭日は休日)

本年も近江・神戸共に事務所を留守にする場合が考えられませんが、ご迷惑をお掛けしますがよろしくお願い致します。